

実用化ドキュメントに係る平成 26 年度広報状況について

1. 実用化ドキュメント概要

NEDO 実用化ドキュメントは、NEDO プロジェクト成果のうち、社会で製品やサービスとして活用されている事例をドキュメント形式で紹介するウェブコンテンツ。追跡調査による、上市・製品化事例等から案件を選定し、平成 20 年度より掲載を開始。

2. 平成 26 年度の広報状況

平成 25 年度に取材、作成した内容を掲載した。

(1) Web 掲載

【日本語版】

平成 26 年 3 月下旬から 10 月下旬にかけて、原則 2 週間ごとに、平成 25 年度取材分、全 15 件の記事を順次追加掲載し、国内に向けて発信。

【英語版】

平成 26 年 9 月下旬から平成 27 年 7 月下旬にかけて、平成 25 年度取材分 15 件及び過去取材分のうち時事性の高い案件 5 件を含めた、計 20 件について、A4 サイズ 1 枚の記事本文要約に加え、プロジェクトが実施された背景、プロジェクトの目的、プロジェクトにおける機構の役割を付したリーフレットを機構英語版 Web サイトに掲載し、世界へ向けて発信。

(2) 概要冊子の配布

【日本語版】

平成 26 年 8 月上旬以降、平成 25 年度末までの取材案件、計 74 件の概要を掲載した日本語版パンフレット「NEDO 実用化ドキュメント 2014」を機構の総合案内や国内イベントを通じ、国内の関係者に向けて配布。

【英語版】

平成 26 年 9 月上旬以降、平成 25 年度末までの取材案件、計 74 件の概要を掲載した英語版パンフレット「NEDO Project Success Stories 2014」を機構の総合案内及び海外事務所を通じて、各国の関係者に向けて配布。

3. 平成 26 年度取材案件

平成 26 年度は 5 件を新規に取材した。

① 家電リサイクル（日立製作所、東京エコリサイクル）

自治体・メーカーとの連携により、白物家電のリサイクル技術の開発、リサイクルシステムの“ゼロ”からの構築に成功。これにより、1 億 7 千万台以上の使用済み家電品の処理を行い、持続可能な循環型社会に大きく貢献。

「家電リサイクルプラントの開発・実証／未利用エネルギー（冷熱）を利用した廃工業製品の低温破碎技術の開発」（平成 4 年度～平成 9 年度）



② 廃プラスチックリサイクル（JFE スチール）

廃プラスチックの有効利用を追求することで、廃プラスチックのリサイクルと共に、CO₂排出量の大幅な削減や生産システムの省エネルギー化を実現。

「廃プラスチック高炉還元リサイクル技術開発」（平成 10 年度～平成 11 年度）



③ 次世代型四次元放射線治療装置（三菱重工業、京都大学、先端医療振興財団）

がんの死滅に“四次元”で挑戦。動くがん細胞を四次元型の放射線治療装置で追尾することで、従来法では成し得なかった治療法に成功するなど、多くの臨床実績を残している。

「次世代戦略技術実用化開発助成事業／Adaptive 四次元放射線治療に向けた患部挙動解析及びフィードバック技術の開発研究」（平成 18 年度～平成 19 年度）



④ 肝線維化糖鎖マーカー（シスメックス、産業技術総合研究所）

“世界初”、糖鎖の変化を測定して肝臓の線維化進行度を判定。血液中の肝線維化糖鎖マーカーを短時間で測定できる、迅速かつ高精度な測定技術の開発に成功。2015 年 1 月より保険適用となり、今後の普及が期待。

「糖鎖機能活用技術開発」（平成 18 年度～平成 22 年度）



⑤ 脳梗塞リスク評価（アミンファーマ研究所）

大学発のベンチャー企業であり、世界で初めてバイオマーカー測定による、脳梗塞の高精度のリスク評価を実現。これにより社会に脳梗塞リスク評価ビジネスという新しい医療検査分野を創出。

「イノベーション実用化ベンチャー支援事業／脳梗塞重症度診断用尿中アクロレイン代謝物測定キットの開発」（平成 26 年度）

